

僧 空海 諡号 請した 冊子 で紹介 その生涯

高松の小学校 善通寺法主も寄稿

空海の諡号（贈り名）を醍醐天皇に奏請した僧・観賢（？～925）を郷土の偉人として紹介す

る冊子『ふるさと鶴尾に産まれたかんげんさん』を高松市立鶴尾小がこのほど作成した。子ども向けに分かりやすい言葉で観賢の生涯を記し、地域に残るゆかりの場所や地域ぐるみで取り組んできた顕彰活動などを紹介している。

2020年4月に赴任した田中義人校長が、少子化が進み活気が失われていく地域の現状に心を痛め「子どもたちに故郷への誇りを持つてほしい」との思いで作成した。田中校長の取り組みは香川県の道徳教育担当者にも留まり、今年

から県内小学生が使用する道徳教材に観賢の親孝行の逸話が掲載されることになった。空海誕生地とされる真言善通寺派総本山善通寺（香川県善通寺市）の菅智潤法主にも冊子への寄稿を依頼。政教分離の観点から収載をためらう

「観賢の生涯が分かりやすく紹介されている『ふるさと鶴尾に産まれたかんげんさん』」



菅法主に「四国の東寺真言宗総本山東寺（京都市南区）や真言宗醍醐派総本山醍醐寺（同市伏見区）、高野山真言宗総本山金剛峯寺（和歌山県高野町）にも訪れ、同冊子を寄贈。勉学に励んだ観賢にちなみ、勉強を継続して頑張る子どもを「観賢賞」として表彰する取り組みも行っている。」

菅法主に「四国の東寺真言宗総本山東寺（京都市南区）や真言宗醍醐派総本山醍醐寺（同市伏見区）、高野山真言宗総本山金剛峯寺（和歌山県高野町）にも訪れ、同冊子を寄贈。勉学に励んだ観賢にちなみ、勉強を継続して頑張る子どもを「観賢賞」として表彰する取り組みも行っている。」

（岩本浩太郎）